

ZORRO (ゾロ)

トランペット



井上直樹 (いのうえ なおき)氏

山形交響楽団トランペット奏者

驚きの楽器です。最初にこの楽器を手にした時、しっかしとした作りと心地よい反応のピストン。若干大きめのベルに興味を惹かれました。マウスピースをレシーバーに挿し込み、息を入れると楽器全体が共鳴し、ベルから響きととも豊かで温かみのある音が空間を包み込みます。製作スタッフのこだわりがひとつの部品やデザインだけではなく、サウンド自体に多大に影響しているように感じます。また、全音域がムラなく鳴るといふのは、このことかと実感させられるほどバランスに優れています。

吹き終えた後、欧米のハンドメイドかと思ひ確かめると、台湾の楽器工場で作っていると聞き、その品質の高さに驚かされました。そのクオリティは欧米の量産された楽器のレベルではなく、ハンドメイドで作られた楽器のレベルです。最後に価格を聞き、最も大きな驚きを得ました。信じられません……。音そのものも他社の高級モデルと同等のレベルなので、

この「ゾロ・トランペット」はオーケストラ、吹奏楽、ソロ、アンサンブルとジャンルを問わず自分の音をベル・アップしてくれます。今日も仕事場へ、この楽器と一緒に向かいます。

Band Journal/バンドジャーナル 2007 2月号より

向出聡 (むかいで さとし)氏

1968年 北海道芦別市出身。学生ビッグバンドに参加し、在学中にプロ入り、ブルーコーツ、ニューハード、ゲイスターズ等のビッグバンドを経て、テーマパークのバンドでリードトランペットとして2数年。現在に至る。

吹いてまず感じたことは息が入りやすいこと。設計者がベルの支柱の位置に苦労されたといふ話もなげけるほど良く鳴ります。指掛けがリングに統一されているのも吹きやすさの理由のひとつでしょう。

チューニング管がスクエア、ラウンドと種類標準装備されており、使い分けができるのも素晴らしいと思います。また、ボトムキャップはセミハードに重くしてありますが、ベルが軽快に反応して良く鳴ることから、鳴り落ち着かせているバランスはとれています。ですから屋外で吹いても、まとまった感じで吹き応えも十分。ジャンル、場所を問わず使えるのが嬉しいですね。

ラッカー・シルバーとも吹き続けて飽きることもないサウンドで気に入りました。

これからトランペットにチャレンジしようと思っている人、何年も無沙汰だけれどもまた楽器を始めようかと考えている人にとって何がベストな楽器選びなのでしょう？ 手頃な価格だけれども物足りない。吹いた感じはいいけれども、値がはるのだからためらってしまう。そういう人達の要望に現れたのが、この楽器です。「百聞は一見に如かず」といわれるように、とにかく一度吹いてみることをおすすめします。

皆さんが吹いてどう感じるのか、僕がその意見を聞いてみたいと思います。吹奏感、コス面を考えたとき、十分に満足できるお勧めのトランペットです。

jazz Life 2007 1月号より

小林 好夫 (こばやし よしお)氏

東京芸術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程修了。
これまでトランペットを自良義延、故 中山富士雄、杉木肇夫、室内楽を福川榮一の各氏に師事。
芸大在学中、フランス国立ジャン・フィリップ・ラモー音楽院に留学して、テ・レ・リ・カンス氏に師事。
フルボ・ランシューソロコンクール位。帰国後、東京文化会館新進音楽家デビューコンサート出演。第13回日本管打楽器コンクール位入賞。
2000年、2001年、東京芸術大学管弦楽研究部非常勤講師を勤める。
現在、長野県小諸高等学校音楽科非常勤講師。ロニー金管五重奏団メンバー。

今日、トランペットのブランドは数多くあります。どのメーカーも研究を重ね素晴らしい楽器を作っており、私たちプレーヤーは自分の好みにあった楽器を手にすることができます。しかし、これからトランペットをはじめるといふ人にとって楽器選びは難しいものです。

トランペットを吹いてみたい！でも楽器は無いし、高価なものだから・・・とあきらめていませんか？この ZORRO(ゾロ)はコストパフォーマンスに優れているだけではなく、吹き易く、鳴りの良い楽器に仕上げられています。そのため、これからトランペットをはじめたいと思っている人達にはとてもおすすめの楽器です。また、息の流れがスムーズで、音程も良く、ストレスなく鳴らすことができるので、経験豊富な奏者にとっても満足のできるトランペットだと思えます。

このトランペットの興味深いところはラウンド・クルークとスクエア・クルークの2つのチューニング管（注管）が付属していることです。これにより2種類の吹奏感が得られます。また、モデルチェンジをしたことでシルバー、銀メッキだけでなく、ラッカーも用意されており、お選択肢が広がりました。

シルバーにラウンド・クルークを装着すると明るく、音質に力強さが加わります。高音域は少しづつなありますが、程よい抵抗感があり、鳴らしやすく音の立ち上がり、先タングの反応も良いと思います。スクエア・クルークを装着し、軽快に吹いた時の音質は、落ち着いたややダークな音色に感じられます。

ラッカーの音質は明るく、低音から高音まで鳴りやすいと思います。特にスクエア・クルークを装着すると低音は良く、音質はより太く、しっかしと鳴ります。

このようにラウンド・クルークは音のつながり、特にスラーのつながりが良く、抵抗感は少ないです。これに対し、スクエア・クルークは抵抗は増しますが、力強く吹き込んだときの鳴りはとても良いと思います。自分の好みにより吹奏感を変えて演奏することができるのは大きな魅力です。

あなたも憧れのトランペットをはじめられるチャンスです。ゾロでトランペットをはじめませんか！

SAX&BRASS 2007年 Vol.3より

ご案内：商品の改良等により、予告することなく仕様や価格の変更が行われる場合もございます。2007/06/01

取扱店：

輸入販売元；
真田貿易株式会社
〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-3-7 真田ビル 2F
電話：03-5480-2678 FAX: 03-5480-2469
<http://www.sanada-co.jp/>